



# 樺太・サハリンから考える



樺太アイヌをはじめとするサハリン（樺太）の様々な民族は、樺太・千島交換条約や20世紀前半の三度の戦争（日露戦争・シベリア戦争・日ソ戦争）の結果、たびたび移住と追放を余儀なくされました。アジア・太平洋戦争が終結すると、多くの朝鮮人・日本人が長らくサハリンへの残留を強いられ、また樺太アイヌの人びとは未だに自分たちの先住地に戻れない状況が続いている。

今回映像証言アーカイブ研究会では、長年サハリン残留邦人の支援活動を行ってきた日本サハリン協会の斎藤弘美会長と、樺太アイヌの権利保障を求めて活動する樺太アイヌ協会の田澤守会長をお招きし、樺太・サハリンの記憶とそこから見える現在の課題について考えます。

※参加費無料・事前予約不要

第1回 2026年2月27日（金）14:00-17:00

立命館大学国際平和ミュージアム2階 セミナー室1

「樺太とサハリン～残留の歴史から未来へ」

※貴重な映像もご覧いただけます

講師：斎藤 弘美さん

（日本サハリン協会会長）

第2回 2026年3月20日（金）14:00-16:00

立命館大学国際平和ミュージアム2階 セミナー室1

「エンチウ（樺太アイヌ）からみる世界」

※貴重な映像もご覧いただけます

講師：田澤守さん

（樺太アイヌ協会会長）